



撮影場所：金砂湖畔公園周辺

平成 27 年第 3 回定例会は、去る 9 月 8 日から 9 月 29 日までの 22 日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成 27 年度一般会計補正予算案を初め、市長提出議案 16 件、修正案 1 件、認定 2 件、議員提出議案 1 件、意見書 1 件、請願 2 件、陳情 2 件が上程されました。

主な内容

- ① 議員提出議案……………P35
- ② 一般質問……………P34 ～ P31
- ③ 議決結果一覧……………P31 ～ P30
- ④ 賛否の状況……………P30
- ⑤ 委員会の審査概要……………P29 ～ P28
- ⑥ 案内板……………P27

【広告】
リフォーム
 住む人の事を考えて
快適な暮らしを
サーヴ ご提案をするワン！
 真心込めたご提案 リフォームのサーヴ
TEL 0120-046-302
 西岡中央市川之江町 1655-3
 川之江駅通りアーケード内 **興陽商事(有)**
売土地募集中! 0896-58-5298

販売代理店様 募集
 — 思い伝えるお手伝い。 —
 少ロット **1000** 個～制作可能
 オリジナル BOX
 ティッシュの事なら
 ヨンパにお任せ下さい。
株式会社 ヨンパ
 〒790-0431 寒川町 2502 TEL 0896-25-2426 FAX 0896-25-2570

LIXIL 住まいの総合会社
アイフルホーム 川之江店 (カジワラホーム様)
cesibo セシボは「ずっと…」がつづく家
 ▼詳しくはWebへ
 スマホ対応しています

 カジワラホーム株式会社 検索
 愛媛県四国中央市妻鳥町1210-1 TEL.0896-56-7701

議員提出議案

『四国中央市快適で美しいまちづくりの推進に関する条例』

を可決しました。

当条例の制定については、平成25年12月から市議会に設置された「暮らしやすいまちづくり調査特別委員会」において議論が重ねられてきましたが、平成27年9月定例会において議員提案され、全会一致で可決しました。

この条例は、迷惑行為として

- ・ポイ捨て
- ・飼い犬のふんの放置

を挙げ、これらの防止及び美しいまちづくりを実現するための基本理念を定めています。さらに、昨今話題に挙がる「空き家対策」について、努力義務として盛り込んでいます。また、それぞれの役割として、市、市民、事業者の責務を定め、協働して「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを目指します。罰則規定は、設けていません。

この条例は、周知期間を経て平成28年1月1日から施行されます。



犬のフンは
持ち帰りましょう



高校生議会放送中！

去る8月4日に開催された高校生議会のドキュメンタリー及び本編をケーブルテレビにて放送しています。ぜひ、ご覧ください。

日時：平成27年11月13日（金） 午後9：30から 高校生議会ドキュメンタリー
午後10：00から 高校生議会本編

※ 今後の放送日時については、番組表等で確認してください。

議会を傍聴してみませんか？

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議及び委員会当日に、市役所5階で傍聴人受付簿に氏名、住所を御記入の上、傍聴してください。

また、本会議の様子は市役所2階ロビー及び各庁舎、ケーブルテレビ、インターネットで生中継をしています。

四国中央市 議会中継

検索

〔9月定例会の委員会の委員長報告をケーブルテレビで放送しています（放送時間等は不定です）。〕

一般質問



紙面の都合上
1議員1問の
質問を掲載し
ています。

◆市西部に中核病院の建設に関して

質問 旧県立三島病院が公立学校共済組合に移譲されてから5年が経過したが、新病院の建設はどのようになっているか。基本構想と今後の見込みはどうか。また、三島医療センターが入院診療と2次救急を休止しているが、現状と今後の対策はどうなっているか。



山川 和孝 議員

答弁 市長

新病院の建設に向けては、現在、基本構想策定のため概算費用を策定中とのことである。市としても、中核病院の建設は地域医療の再生を図るための重要施策と位置づけており、今後も公立学校共済組合及び県との連携を密にしながら、必要な支援についても検討していきたい。また、4月以降休止している三島医療センターの入院診療や2次救急は、ともに四国中央病院が担っており、救急搬送に関しても支障は来していないが、公立学校共済組合としては、来年度以降の三島医療センターでの2次救急等を他の医療機関に委ねることも検討しており、受託者を公募する準備を進めていると伺っている。

その他の質問 ○土砂災害と津波・高潮対策等の事業について ○鳥獣被害の対策について
○中・高校生の自転車通学用ヘルメットについて ○公園のトイレ洋式化について

◆実質8月から大幅負担増となった介護保険制度について

質問 介護保険料が県下で2番目、全国で28番目に高く苦情が続出、負担は限界。介護特別会計は前年度繰越金を1億3,941万円の黒字を出している。また総務費約2億2,000万円は一般財源を充当すれば軽減できる。制度開始以来15年間保険を伴わない方や在宅介護に十分な配慮をされたい。



三谷 つぎむ 議員

答弁 福祉保健部長兼福祉事務所長

介護保険法第124条、「市町村は、その一般会計において、12.5%を負担する」と規定されており、当市においても、この法定負担分のみを一般会計から繰り入れている。この法定分を超えて一般会計から繰り入れることの是非については、厚生労働省は「公費半分、保険料半分で設計された介護保険制度では、制度的に決まっているもの以外に一般財源を投入することに国民の理解が得られにくい」との理由から一般財源からの投入は慎むようにと見解を示している。会計検査院の指導においても一般会計から法定分を超えての繰入金がないか厳しいチェックを受けているところである。今後も国、県の指導に基づき適正な介護保険料となるよう努めていく。

その他の質問 ○学校給食等について ○生活弱者の住宅施策について ○高齢者の投票について

◆日本創成会議が高齢者移住を提言したことについて

質問 今回の提言で、候補地の有無もさることながら、元気なうちに移住を進め、その地域になじみ、購買力などを高める。しかも、市民と行政が100歳まで、心も体も元気そのものを目指して、人口増加につながる移住を積極的に推進することを思う。



眞鍋 幹雄 議員

答弁 企画財務部長

高齢者移住については、医療、介護の両面から中長期視点を持って、維持確保や適正配置に努めていきたいと考えている。また、近隣市等においても高齢者に限らない移住促進の取り組みを積極的に行っており、現在は近隣市で組織する「四国まんなか交流協議会」等を通じて、積極的な情報収集を行っている。産業のポテンシャルが高い本市では、その活力の原動力となる若者や女性をターゲットとした移住定住施策の推進に力を入れる必要があると考えるが、高齢者にとっても住みやすいまちは、本市が目指すあったかいまちづくりに重要な要素であることから、今後、民間との連携も含め、より効果的な施策展開に向けて取り組んでいきたい。

その他の質問 ○地域文化について ○地域農業について

ブライダルに関することなら、お任せ下さい。

11/29 **ブライダルフェア**

11/17 10:00~17:00

ホテルグランフォーレ 平日相談会も開催中！

四国中央市三島朝日1-1-30 TEL0896-23-3355

J A うまテイサービスセンター

あったか荘

三島 中之庄町1684-9 TEL: 24-6712
川之江 貴島町1525 TEL: 58-2132
土居 土居町土居885-1 TEL: 74-0150

営業時間 8:30~17:00
温泉・バス・食堂・喫茶・車庫

今年のクリスマスは、
将来の伴侶とお二人で...

婚活パーティー開催

日時 11/28(土) 18:00~20:00 完全予約制

会場 リーガロイヤルホテル新園浜

男性:5,000円 女性:5,000円

★イベントだけでなく随時ご相談を承っております。お気軽にお問合せ下さい。

ライフラインの結婚相談所 **しあわせたまご**

TEL 0897-47-0688 西条市書多川622-1

医療保険が使える

訪問マッサージ

歩行困難・麻痺や拘縮等の症状の方
お電話でお気軽にお問い合わせ下さい。

和み 四国中央店

お問い合わせ 0120-774-753

住み慣れた地域で、
にこやかに幸せに
生活していただけます。

Sun Family

サン・ファミリア

サン・ファミリア西国中央・サン・ファミリア プライムタイムみしま

お問い合わせ 0120-652-350
http://www.sunfami.net

『新築』から『リフォーム』まで
おまかせください！

日新ハウジング株式会社

TEL 0896-24-1010

◆イクメンについて

質問 子育てと親の介護が重なるダブルケアの問題が社会問題としてはっきりと認識されるようになってきた中で、男性自身の成長のためにも育児家事への参加が期待されるが、公務員と民間企業での育児休業制度の利用状況はどうなっており、今後の推進対策はどうか。



石川 剛 議員 **その他の質問** ○県と市の防災活動の連携について ○文化継承と文化創造について

答弁 福祉保健部次長

愛媛県が、平成25年度に実施した仕事と家庭の両立支援に関する雇用環境調査によると、県内事業所における育児休業制度の利用状況は、女性が81.2%、男性が3.2%となっている。また、本市の事業所における育児休業制度の利用状況は調査を行っていないので把握できていないが、平成26年度の四国中央市役所の女性職員の育児休業取得者は31名であり、男性職員は平成21年度と平成23年度に各1名の取得があった。今後の推進対策としては、国や愛媛県においてさまざまな育児休業の支援制度があるので、それを雇用者、労働者がともに知り活用いただくことが重要であることから、より一層啓蒙啓発活動に努めていきたい。

◆えひめ国体の当市における宿泊体制について

質問 再来年の秋に、えひめ国体が県下の各市町を競技会場として行われる。当市では、軟式野球ほか5種目の競技が行われるが、それらに出場する選手、監督は一般家庭に宿泊する民泊となる。選手、監督の宿泊は公民館や集会所ではだめなのか。民泊の意義について問う。



後藤 光雄 議員 **その他の質問** ○公共建築物における木材の利用促進等について

答弁 市長

民泊とは国体に出場する監督、選手がホテル等の営業施設ではなく、宿泊料金を支払って一般家庭等で宿泊する方式であるが、当市においては、食事は公民館等で共同調理により提供し、宿泊・入浴は一般家庭で行う共同民泊方式により実施する予定としている。対象種目は、フェンシング競技、成年女子、少年男女を想定しており、民泊の実施に当たっては、地域の実情がよくわかる各地区の国体協力会において、平成28年7月ごろまでに募集、選定するようお願いしている。また、単に宿舎を確保するだけでなく、市民運動の一環として民泊を実施することにより、地域の結束力を高める絶好の機会になると考えている。

◆学校給食をとおして、あったか市政を問う

質問 学校給食センター建設準備委員会会議録で方針のたび重なる変更が、財源をめぐっての情報操作で委員会の方針変更を迫る等市の主導で行われてきたことが判明した。幼稚園の実施と引きかえの自校方式の廃止は認められない。拙速はやめ、市民に寄り添ったあったかな対応を求める。



三好 平 議員 **その他の質問** ○大型箱物建設で市民のいのち・くらしは守れるか
○公共施設等総合管理計画は市民本位の姿勢で

答弁 教育部長

当時、三島学校給食センター単独の建てかえ計画は、新市建設計画の目指す一体感の醸成から遠いことから合併特例事業になじまないと判断した。次に、幼稚園の給食は、地域間格差の解消の観点から実施するもので、学校給食センターの整備に当たり幼稚園の給食を提供することは、市民サービスの向上につながると思う。また、自校方式を段階的にセンター方式に移行する整備方針は、自校方式の抱えている課題解決の観点から検討したものであり、それぞれの方式には、長所、短所があるが、センター方式への移行がサービス低下につながるものではなく、建設準備委員会において、延べ17回に及ぶ議論や施設の視察を経て給食施設の整備方針をまとめた。

◆市営の合葬墓を作る必要があるのではないか

質問 世の中の変化が早い中で、墓のお守りをすべき人が居ない場合、遠方に居る場合、居てもうまくいっていない場合等多様化している。そういう中で市営の合葬墓が必要になってきている。新居浜市にはあるが、当市におかれてはいかがお考えか。



河村 郁男 議員 **その他の質問** ○いじめ防止対策を「褒める教育」の実施例から考える
○美しい言葉を学び、心が豊かになる俳句や短歌の授業をもっと積極的に

答弁 副市長

全国の自治体では、まだ少数であるが、使用者が定められた区画を使用する従来の墓地とは異なり、1カ所の墓に多くの遺骨を一緒に埋蔵する新しい形の合葬墓が設置されているようである。合葬墓の特徴は、「個人・家族ごとの区画がないため墓の管理の必要がない」、「従来の墓を構えるより安価な費用で納骨できる」、「墓地の承継の心配がない」など、少子化などによる時代の変化に沿った形態の墓となり得るものと考えている。本市においても、墓地に係る昨今の現状を鑑みると研究すべき重要な課題である。現在、近隣自治体や宗教法人など「合葬墓」等の実情の把握に努めており、今後は、市民ニーズの変化や需要等についても調査、検討していきたい。

◆市役所本庁舎建てかえに伴い、3庁舎、支所、出張所の今後の計画は

質問 本庁舎以外の川之江、土居、新宮庁舎並びに、嶺南支所、各出張所の建物の改廃、業務の移転、業務内容の整理等をどのように進めるか。特に川之江庁舎の跡地利用、窓口業務の移転、商工会議所の移転先はどうなるか。また、今後住民サービスを低下させない具体策は。



吉田 善三郎 議員 **その他の質問** ○埋め立て事業の今後の見通しと計画について
○消防防災センターの竣工を受けて、救急業務の現状と課題、その対応について

答弁 市長、企画財務部長

川之江庁舎については、耐震性が不足しているため解体撤去し、跡地については、金生公民館の整備を考えている。土居庁舎については、周辺施設と一体的な利用を検討、新宮庁舎については、耐震性不足により、新宮診療所周辺に機能移転を考えており、嶺南支所、各出張所については、当面存続させる。また、川之江窓口の業務は、川之江文化センターへ、商工会議所は川之江保健センターへの移転を検討している。今後のサービスを低下させない方策については、各庁舎窓口で行っている業務のうち、利用頻度の高い住民票の写し等をコンビニエンスストアで発行できるように検討していく。

◆地方創生に向けた本市の取り組みについて

質問 住みたいまち、住み続けたい魅力あふれる四国中央市として9月に人口ビジョンのとりまとめ、10月には、まち、ひと、しごと創生総合戦略をとりまとめられる計画であるが、国が示した「長期ビジョン」「総合戦略」についての見解を伺う。



谷内 開 議員 **その他の質問** ○学校施設の安全対策について ○中学校の部活動に防災部の設置を
○朝型勤務について

答弁 市長

国の長期ビジョンでは、人口問題に対する基本認識として東京一極集中の是正等の3つを基本的な視点として取り組みを進めることで、人口減少に歯どめをかけ、2060年に1億人程度の人口を維持し、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目標としている。総合戦略では、その目標を達成するための考え方や基本方針などが示され、地方に向け、やる気のある地方を積極的に応援するとし、自主性や積極性を促している。将来人口推計では、2060年に8,600万人程度に減少するとされており、目標の1億人維持には、努力が必要であると推察できる。本市としても策定中の総合戦略において、当市ならではの施策を検討し、地方創生に向け積極的に取り組みを進めていく。

◆11号バイパス県道川之江大豊線、上分交差点以东について

質問 平成16年に地域の説明会が開かれてそれ以降10年余りも何の進捗状態も説明もないが現在の状況はどうか。また、向山古墳の件で時間がかかるのであれば、とりあえず県道大野原川之江線までも早期に開通することができないか。



石津 千代子 議員 **その他の質問** ○児童虐待について ○塩谷小山線、第3工区の事業計画について

答弁 副市長、建設部長

平成16年6月に事業主体の国土交通省の事業説明会が開催されたが、同年、山田井川での豪雨災害が発生し内水面の問題を解決する課題が生じ、平成26年まで浸水事業を整えてきた。この間、平成23年9月にバイパス路線に近接していた宇摩向山古墳が国史跡に指定され、発掘調査により計画上に位置することとなり、古墳を避ける新ルートを松山河川国道事務所において検討しており、今年度末には新ルートが示される予定である。住民の方々には、御不便や御心配をかけてしまい申し訳なく思っている。新ルートを検討しているため、県道大野原川之江線とバイパスの交差点の位置が定まらず現時点では着手することができない状態となっている。いずれにしても、国、県ともに連携し、バイパスの早期の全線供用開始に向け努力したい。

◆高落札率での工事入札において予定価格の事前公表を取りやめ、地域枠撤廃を求める

質問 最近の大型建築工事の落札率は98%以上と極めて高く、土木工事においては、新宮・川之江地域は一定の競争性があるが、三島、土居地域では総じて高止まりである。これらの弊害となっている予定価格の事前公表制度を廃止し、また、地域間格差をなくすため地域枠を撤廃するよう見直しを求める。



青木 永六 議員 **その他の質問** ○いじめ問題について ○採択された育鵬社版歴史教科書問題について

答弁 市長

建築工事の落札率は、工事発注に当たって最新単価での設計を行い、一般競争入札により複数業者が参加のもと、実勢価格にて応札された結果であることから、競争性も十分に確保され、制限価格の範囲内での落札であることから特に問題はない。予定価格の事前公表については、愛媛県においては、県、市町ともに、当面の間は継続する方針で一致している。なお、発注案件によっては必要に応じて柔軟に対応していきたい。地域枠については、各地域とも最大20数社が入札参加対象であることから競争性は十分に図られており、また、一定の金額以下の工事については、地元精通した地元業者を対象とする現行の地域枠での発注形態が望ましい。

◆産学官連携の研究開発体制の構築、技術革新について伺う

質問 確かな経済の好循環に向けての政策においては、成長戦略につながる新たな技術革新の構築が不可欠である。本市、基幹産業である紙産業の振興において、取り組み状況や、特徴について伺う。



答弁 産業活力部長

平成26年4月に設置された愛媛大学紙産業イノベーションセンターでは、紙産業の維持・発展とともに、新たな成長産業の創造にもつながる高度バイオマス産業の創造及びCNF実用化などの研究開発が進められている。本市も、今年度4月から同センターへ職員を派遣し、地元企業と地（知）の拠点である愛媛大学のニーズを結びつける重要な役を担っている。これまでも紙産業の技術支援機関である「愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター」、紙パルプ関連産業の業界団体である「愛媛県紙パルプ工業会」など、業界と行政が緊密な連携を保ってきたが、今後においても、世界との技術競争を勝ち抜く研究開発を支える産学官連携の体制を堅持していきたい。

国政 守 議員 **その他の質問** ○防災・減災対策について ○いじめ防止の取り組みについて
○住宅リフォーム補助事業について ○女性が輝く社会の実現について

◆教育委員会はガバナンスに問題あり

質問 いじめは今現在もどこかの学校で行われ、いじめはあるとの認識で対峙すべきである。これまでのように、一部の生徒だけの問題とせず、パフォーマンスのための条例制定ではなく、みんなの問題として本気で、真剣に取り組むべきであると思うが。



答弁 教育長

いじめ問題には、「誰の身にも、どこの学校でも起こり得ること」として市内の小中学校全体で情報を共有し「今現在もあるかもしれない」という構えで対応している。この基本姿勢は、教育委員会から各学校に毎年の教育基本方針説明や定例校長研修会の中で指導・伝達している。この基本姿勢を踏まえて各学校でいじめの早期発見の手だてを見直し、教育相談やカウンセリングの充実を図るなど改善を進め、全小中学校での情報の共有を強化している。子供たちの主体性の育成や地域、保護者との連携もさらに推進し市全体で取り組む基盤をつくりたいと考えている。本条例も含め、いじめ防止の一助となることを一つからでも積み重ね、未然防止、再発防止に努めているところであり、十分ではないかもしれないが、組織ガバナンスは機能していると考えている。

谷 國光 議員 **その他の質問** ○市当局における理事者間の見解に大きな差異がある問題
○職員の事務量（仕事量）には大きな格差がある問題

平成27年第3回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番号	件名	議決結果
議案第73号	四国中央市いじめ防止対策委員会及び四国中央市いじめ問題再調査委員会条例の制定について	原案可決
議案第74号	四国中央市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第75号	四国中央市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第76号	四国中央市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第77号	四国中央市太陽の家条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第78号	平成27年度四国中央市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第78号	平成27年度四国中央市一般会計補正予算（第2号）修正案	否決
議案第79号	平成27年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第80号	平成27年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第81号	平成27年度四国中央市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第82号	平成26年度四国中央市水道事業会計剰余金の処分について	原案可決

番号	件名	議決結果
議案第83号	平成26年度四国中央市簡易水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第84号	平成26年度四国中央市工業用水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第85号	四国中央市川之江浄化センター（長寿命化）の建設工事委託に関する協定の締結について	原案可決
議案第86号	物品購入契約の締結について	原案可決
議案第87号	妻鳥小学校校舎増築工事（建築）請負契約の締結について	原案可決
議案第88号	平成27年度四国中央市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
認定第1号	平成26年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第2号	平成26年度四国中央市水道事業会計決算、四国中央市簡易水道事業会計決算及び四国中央市工業用水道事業会計決算の認定について	継続審査
議員提出議案第1号	四国中央市快適で美しいまちづくりの推進に関する条例の制定について	原案可決
意見書第3号	安全保障関連法案の強行採決に抗議し、さきの国会で成立した安全保障関連法の廃止を求める意見書について	否決
27年請願第3号	日本政府に「核兵器全面禁止・廃絶国際条約」の締結のための行動を求める意見書提出についての請願	継続審査
27年請願第4号	伊方原発の再稼働を認めないよう愛媛県知事に意見書送付を求める請願	継続審査
27年陳情第4号	「住宅新築資金等貸付事業の滞納問題」に関する陳情	継続審査
27年陳情第5号	家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情	継続審査
	決算特別委員会の設置について（議長発議）	原案可決
	決算特別委員会の選任について	選任

各議員の議案に対する賛否の状況

※賛否の分かれた案件を記載しています。 ○：賛成 ×：反対

氏名	石川剛	国政	大野	眞鍋	三好	後藤	山川	河村	三宅	谷内	篠永	山本	刈田	吉田	井川	原田	青木	石津	飛鷹	谷部	曾我部	石川秀	越智	西岡	三谷
議案第74号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第76号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第78号（原案）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第78号（修正案）	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
意見書第3号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
27年請願第2号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
27年陳情第1号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
27年陳情第2号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
27年陳情第3号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○

常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中。

総務委員会

◎飛鷹 總慶 ○石津千代子 石川 剛 国政 守 ◎委員長
三好 平 篠永 誠司 ○副委員長

●議案第 74 号「四国中央市個人情報保護条例の一部を改正する条例について」

質問 マイナンバーカードは要らないと拒否できるのか。また拒否した場合、不利益等はあるのか。

答弁 カードを拒否することは問題には当たらない。個人には、既にナンバーが振られているので、受け取りを拒否して、カードを受け取らなくてもその拒否した方にも、10月5日以降に通知カードを配付していく。拒否した方が自身の番号を承知していないと、今後、官公庁等へ提出する書類にもマイナンバーを記載しなければならないので、マイナンバーは知っていなければならない。

●議案第 75 号「四国中央市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について」

質問 公務員の共済厚生年金の掛け金は民間厚生年金より高かったことは事実であり、共済年金と厚生年金が一元化されることで、公務員は不利益にならないのか。

答弁 厚生年金との一元化と本条例とは直接関係がない。一元化に際して公務員も平成 25 年から掛け金の率が上がっており、平成 30 年 9 月には、保険料率は厚生年金と同じ 18.3%に統一される。過去の掛け金の高い安いは把握できていないが、基礎年金、2 階部分の共済年金に代わり厚生年金に統一され、3 階部分の職域部分についても掛けてきた額が返ってくる。

●議案第 78 号「平成 27 年度四国中央市一般会計補正予算（第 2 号）」所管分

質問 確定した普通交付税の増額の要因について伺う。単位単価の見直し、公民館の数により経費の追加や、経費をみるとかそのようにした結果の反映なのか、ただただ、計算上のものなのか伺う。

答弁 普通交付税の算定については、基準財政収入額と需要額の差額であり、積み上げによることとなるため、単純に何がふえたから等の説明が難しい。増額要因を 2 点挙げれば、1 番目は、基準財政収入額の法人市民税の算定は昨年度の税込から推計されるが、その結果、当初予算編成時の予測より減収となったためである。2 番目としては交付税検査を 2 年に 1 回受けるが、検査により、錯誤措置があり、約 1 億円の増額となった。

教育厚生委員会

◎三宅 繁博 ○河村 郁男 大野 勝 谷内 開 ◎委員長
山本 照男 西岡 政則 三谷つぎむ ○副委員長

●議案第 73 号「四国中央市いじめ防止対策委員会及び四国中央市いじめ問題再調査委員会条例の制定について」

質問 条例案の第 4 条に規定される重大事態について、どのような事態を指すのか伺う。

答弁 いじめ防止対策推進法第 28 条第 1 項に規定される事態であり、その内容はいじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身または財産に重大な被害が生じた疑いがあるときや、相当の期間学校を欠席することを余儀なくされていると認められる場合である。

質問 いじめ防止対策委員会については、常に設置するものなのか伺う。

答弁 いじめ防止対策委員会は常設するものであり、重大事態への対応のみならず、いじめの未然防止を含めた相談や取り組みを行うこととしている。

●議案第 77 号「四国中央市太陽の家条例の一部を改正する条例について」

質問 これまでショートステイを利用したくともできなかった方は多数いらっしゃると思われる。国の基準によるスペースの規定等の制約もあると思うが、せめてもう 1 名定員をふやしてほしい。お考えを伺う。

答弁 本議会に提案している一般会計補正に計上しているが、浴槽の改修を含め、居室 2 部屋の改修を予定している。ショートステイの定員増については、今後の需要を踏まえながら検討したい。

●議案第 78 号「平成 27 年度四国中央市一般会計補正予算（第 2 号）」所管分

質問 体育施設費における体育施設整備事業について、三島小学校のグラウンド照明を L E D 化することだが、市内のグラウンドにおける L E D 化の方針について伺う。

答弁 三島小学校の照明については、老朽化による漏電が発生しているため、L E D 化を急いだものである。また、2020 年には水銀灯の生産が終了することになっており、順次 L E D 化の整備を図っていく予定である。なお、照明に係る本柱の耐用年数は 45 年であり、それを含めた検討が必要である。三島小学校における照明交換については、校舎設置、本柱設置を含め 40 灯の交換を行い、他の学校施設についても、将来的な展望を持って整備を図れるよう、計画を作成中である。

環境経済委員会

◎原田 泰樹 ○吉田善三郎 後藤 光雄 ◎委員長
苅田 清秀 青木 永六 越智 滋 ○副委員長

●議案第 76 号「四国中央市手数料条例の一部を改正する条例について」

質問 マイナンバー制度というのは、知れば知るほど恐ろしい制度だと思う。最近の新聞では、顔認証システム導入の記事があったが、具体的な手続きはどのようなものか。

答弁 顔認証システムは開発中であるが、顔写真と本人が一致しない場合があればシステムを使い同一人物か判定する。システムは国が無償で市町村に配付することとなる。また、個人番号カードの手続きは、通知カードの同梱物の中に個人番号カード申請書が入っており、顔写真をつけ申請することにより、平成 28 年 1 月より交付されることとなる。

●議案第 78 号「平成 27 年度四国中央市一般会計補正予算（第 2 号）」所管分

質問 玉水橋の架けかえに伴い 11 月から 3 月の期間に送迎するということだが、どのような体制で送迎に取り組むのか。また、委託先はどこか。霧の森は株式会社であるが、それに係る霧の森の経費の持ち分について伺う。

答弁 期間は、11 月から 3 月までを予定している。霧の森玉水橋補修工事に伴い、霧の森第一駐車場から霧の森施設まで来場者を送迎し、定休日を除き、委託するタクシー会社等の 10 人乗りのジャンボタクシーでの運行を予定している。また、土、日、祝日には、やまびこのマイクロバスも利用し、来客者に迷惑をかけないよう最善の努力をしていきたいと考えている。また、やまびこの経費は、四国中央市指定管理者制度の運用ガイドラインにもあるとおり、建物本体の保全に係る修繕に関しては、原則所有者である市が負担する必要があり、基本的に、市が実施する工事であることから、やまびこの負担はない。ただし、土、日、祝日のマイクロバスの運行は、やまびこに協力していただくこととしている。

質問 2018 年度からカルテや診療報酬明細書等の医療情報に番号制度を導入して活用する方針が出ている。2018 年度から施行して 20 年度から本格運用が始まり、これにより全国の病院、薬局、介護事業所が個人の医療情報を共有できる。どこまで広がっていくのか危惧するところであるが、そのようなことが当市に具体的に通知されているのか伺う。

答弁 医療分野については、国から検討中と示されている。具体的には、健康保険証として個人番号カードを利用することや戸籍事務、パスポート事務などへの利用を検討中と示されている。

建設水道委員会

◎曾我部 清 ○石川 秀光 眞鍋 幹雄 ◎委員長
山川 和孝 井川 剛 谷 國光 ○副委員長

●議案第 78 号「平成 27 年度四国中央市一般会計補正予算（第 2 号）」所管分

質問 道路維持補修の内容は。また、今現在の件数と予算の執行率はどのくらいか。

答弁 91 カ所 で 78% 執行している。内訳として、道路が 47 カ所、舗装が 20 カ所、水路が 24 カ所である。このままでいくと年度途中で予算が尽きるため、補正予算をお願いするものである。

質問 浸水対策費の宮川ポンプ場は、どのような改修か。

答弁 宮川ポンプ場は、水位が上がってくると自動でゲートポンプと除塵機が一緒におりてきて排水を始める。水位が下がってきても、海の近くなので潮が引くまでゲートを上げられず、潮位の低下を待つ職員が手でゲートを上げに行っている。この補正でタイマーを設置し、自動でゲートポンプと除塵機が上がるよう改修したい。

●議案第 81 号「平成 27 年度四国中央市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）」

質問 今回の補正は、テレメーター機器を新宮から中田井浄水場に移すということか。

答弁 現在新宮庁舎に設置している監視盤の老朽化に伴い現機器を廃止し、中田井に新設するための設計委託料を計上するものである。

●議案第 82 号「平成 26 年度四国中央市水道事業会計剰余金の処分について」

質問 条例の改正は必要なのか。

答弁 今回の制度の改正は、地方公営企業会計に伴うものなので、条例制定を必要とするものではない。

●議案第 85 号「四国中央市川之江浄化センター（長寿命化）の建設工事委託に関する協定の締結について」

質問 同類の業者は、契約の相手方である日本下水道事業団だけか。

答弁 自前に対応できない自治体が多いことから、地方公共団体が主体となって、地方共同法人である日本下水道事業団をつくった。民間の機関ではなく、公的な代行支援機関という位置づけであり、1 社のみである。

案 内 板

第7回 四国中央市議会報告会 開催します！



日 時：平成27年11月7日（土）
午後7時から午後8時30分

開催場所：東会場／川滝公民館
西会場／関川小学校

東会場 参加予定議員

石川 剛・国政 守・大野 勝・三好 平・河村郁男・三宅繁博・山本照男
苅田清秀・吉田善三郎・青木永六・谷 國光・石川秀光・越智 滋

西会場 参加予定議員

眞鍋幹雄・後藤光雄・山川和孝・谷内 開・篠永誠司
井川 剛・原田泰樹・石津千代子・飛鷹總慶・曾我部清
西岡政則・三谷つぎむ



主催：四国中央市議会

本会議での発言を記録した9月定例会の『会議録』を、9月上旬に市役所本庁、各庁舎及び図書館に備えます。

また、四国中央市ホームページの「議会情報」にも全文掲載しており、検索も可能ですのでごらんください。

《議会だより編集委員会》

編集委員 ◎印は委員長 ○印は副委員長

◎苅田 清秀 ○後藤 光雄 石川 剛 大野 勝 河村 郁男 井川 剛 三谷つぎむ

※議会だよりは、年4回（5月号・8月号・11月号・2月号）広報との合併号になります。

【お問い合わせ先】

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号（四国中央市議会内） TEL 0896-28-6048

